

令和4年10月号

# 算数・数学チャレンジクラブだよ!



秋の空が青く澄んで見えるように、何事も見通しを持ってカンガエル!!

(公財) 金沢子ども科学財団

〒920-0865金沢市長町3丁目3番3号  
Tel076(221)2061 Fax076(221)2062  
e-mail kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jp

季節は実り多い秋になりますね。たくさん食べて脳を活性化し、多様な考え方を持った算数する心・数学する心を育みましょう。充実の秋・成長の秋になることを期待しています。

## 今後の予定表

講座の予定 ( 通常の講座時間は 10:00~11:45 )

月	小学5年生	小学6年生	中学生	オリンピック支援
10月	10月1日(土) 4色問題に挑戦		10月16日(日) 中2 ピックの定理 中3 オイラーの公式 注意!!中1は11月6日(日) に日程変更となりました	10月2日(日)
11月	11月5日(土) 10:00~第1回思考力検定(3階学習室1、2&3) 受付:9時30分~9時45分 説明・諸注意:9時50分~ 検定開始:10時 (終了は受検級による)			
	11月19日(土) テープの輪		11月6日(日) 中1 お年玉獲得大作戦	
12月	12月10日(土) A組 立体4目並べ B組 秘宝伝	12月17日(土) 面積迷路		12月18日(日)

## お知らせ・お願い

### 算数オリンピックトライアル大会 奨励賞受賞 おめでとうございます

6月12日に行われた「算数オリンピックトライアル大会」で、石川県1位の成績を収めたクラブ員がいます。算数オリンピックでは、6年生のHさん、ジュニア広中杯では、中学1年生のKさんです。おめでとうの気持ちを込めて、財団からささやかながらも「財団グッズ詰め合わせ」を贈らせていただきます。来年挑戦する皆さんも、ファイナル進出や奨励賞獲得をめざして、頑張ってください。



☆来年度の【継続調査】を実施します。10月3日にチャレンジクラブとオリンピック支援講座の継続意向のメール(詳細は9月号のお便り参照)が計2通届きます。家族で相談されてなるべく早くお返事をお願いします。

## 夏休み中の講座の様子

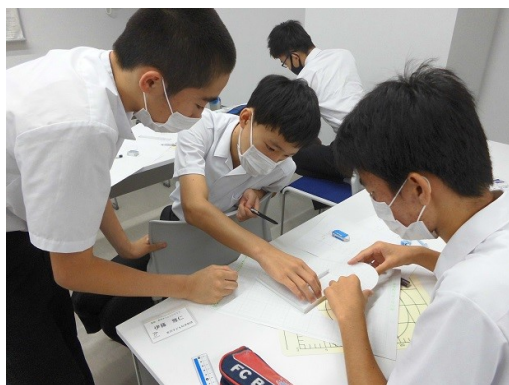
8月20日(土)に<sup>めいせい</sup>明星大学客員教授の細水保宏先生をお招きして、6年生の特別講座がありました。講座名は『やっぱり算数っておもしろい!』でした。私たちの固い頭では、折り鶴は正方形の折り紙で折るとしか思っていないでせう。ところが、「もしも折り紙の形がひし形だったら・・・」とか「もしも折り紙がタコ形だったら・・・」という条件で、折り鶴を折って見たら、なんと首の長い鶴になったり、片羽が伸びた鶴が現れたりしました。発想の転換をすると、おもしろい結果が出るのがわかり、目から鱗が落ちたような感じがしました。



8月27日(土)に5年生の『プログラミング』の講座がありました。附属小学校の岡本先生の指導の下、iPadのアプリ『プレイグラウンド』を使ってお宝ゲットの旅に出ました。「Go straight!」を3回「Turn left!」の後に「Jump!」などの命令を英語でアバターに出していました。二人で協力して命令を考えました。グラウンドを進んだり、もどったり、ワープをしたりして、真っ赤な宝石を手に入れていました。



7月24日(日)に中学1年生の『確立と期待値』の講座がありました。23人の教室の中に、月日も全く同じ誕生日の人がいるのか予想しました。計算すると、確率的には50%で存在するとなりました。でも誕生日が全く同じなんて、そんなことが起こるわけない、と全員が思っていました。ところが、なんと指導の高出先生と同じ7月14日生まれのクラブ員が1人いたのです。「そんなことってあるんだ!!」という驚きと、同じ誕生日の人がいることでなんだかうれしくなり、みんなホッコリとしました。



同じ日に中学3年生の『ソファ問題』の講座がありました。<ソファを廊下の壁にこすらないように運んでいく。途中で廊下はL字に曲がる。このL字路を通過できるソファの形と面積の最大値を求める。>というのが課題です。ソファの形は、正方形、長方形、円、半円と頭の中ではいろいろと考えました。指導の近藤先生は、工作用紙で廊下とソファの模型を作らせました。すると実際には公衆電話の受話器みたいな形のソファが、最大面積になることが判明しました。中3生はクラブ員になって5年目で、お互いのことをよくわかっているいい友達になっていて、自分の意見を出して大いに議論していました。

7月31日(日)に、中学2年生の『水の分配』の講座がありました。<3Lと5Lと8Lの3つの容器を使って、8Lの水を4Lと4Lに分けるには最短何回で分けられるかな?>という問題でした。この問題は小学6年生の算数卒業問題で、小学生時代の最後に苦労して解いています。何度トライしても正解が得られず、嫌になるくらい考えた経験があります。ところが、外山先生が示してくれたグラフを使って、水の方を矢印に沿ってトレースすると、あっという間に解けてしまいました。あまりの簡単さに「あの時の苦労は何だったんだ!」と過去を嘆くクラブ員もいました。

